

業界の“トップランナー”を目指すタカミヤが、
「秩父宮賜杯 第56回全日本大学駅伝対校選手権大会」に協賛
～プラットフォーム事業で顧客と建設現場の「中継所」を目指し、若者の
スポーツ振興に貢献～

足場をはじめとする仮設機材の総合プラットフォームとして、建設業界を支えるソリューションを提供するタカミヤ（以下タカミヤ、本社：大阪市北区、代表取締役会長兼社長：高宮一雅）は、2024年11月3日（日）に開催予定の「秩父宮賜杯 第56回全日本大学駅伝対校選手権大会」に、昨年に引き続き協賛することを決定いたしました。



■協賛の背景と目的

タカミヤは、2023年5月に新ビジネスモデル『Takamiya Platform（タカミヤプラットフォーム）』を発表し、建設現場における安全性と効率性の向上に注力しています。全日本大学駅伝では、選手たちが一つのタスキをつないでゴールを目指します。同様に、タカミヤは建設現場の安全というタスキを、お客様や協力会社の皆様と共につないでいきたいと考えています。駅伝選手が全力で走り抜くように、タカミヤもプラットフォーム事業の普及や安全性の向上に全力で取り組み、建設業界のより良い未来を目指します。



第55回大会の様子（提供 朝日新聞社）

■秩父宮賜杯 第56回全日本大学駅伝対校選手権大会 について

全日本大学駅伝は、愛知県名古屋市の「熱田神宮」をスタート、三重県伊勢市の「伊勢神宮」をゴールとする8区間106.8kmで競う、“大学駅伝日本一”を決める大会です。1970年の第1回大会以来、半世紀以上にわたり開催されてきた伝統ある競技会で、“学生3大駅伝”の一つとして広く知られています。

本大会には、全国8地区の代表17校、前年大会上位のシード校8校、日本学連選抜チーム・東海学連選抜チームの合計27チームが参加します。長距離走の強豪校が集結し、熱戦を繰り広げる様子は、多くの人々に感動と勇気を与えています。

■秩父宮賜杯 第56回全日本大学駅伝対校選手権大会 概要

開催日時：2024年11月3日（日）午前8時10分スタート（予定）

コース：愛知県・熱田神宮西門前～三重県・伊勢神宮内宮宇治橋前 8区間 計106.8km

出場枠：全国8地区の地区選考会を勝ち抜いた17校、前年大会上位のシード校8校、オープン参加2チーム 計27チーム（予定）

主催：公益社団法人日本学生陸上競技連合、朝日新聞社、テレビ朝日、メ〜テレ

後援：スポーツ庁、愛知県、三重県、名古屋市、伊勢市、日刊スポーツ新聞社、愛知県商工会議所連合会、三重県商工会議所連合会、一般社団法人中部経済連合会、中部経済同友会、飛島村、弥富市、木曾岬町、桑名市、川越町、四日市市、鈴鹿市、津市、松阪市、明和町、玉城町（予定）

運営協力：東海学生陸上競技連盟、一般財団法人愛知陸上競技協会、一般財団法人三重陸上競技協会

特別協賛：長谷工グループ

協賛：タカミヤ

社名 株式会社タカミヤ

代表 高宮 一雅

本社所在地 大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪 タワーB27 階

設立 1969年6月21日 / 資本金 10億 5,214万円 / 従業員数 753名（連結従業員数 1,327名）

事業内容 仮設機材の開発、製造、販売及びレンタル、仮設工事の計画、設計、施工

URL <https://corp.takamiya.co/>
